



高岡天ヶ城麓地区歴史的街なみづくり

ワークショップだより

1号

平成22年11月27日(土) 第1回ワークショップ

高岡町中心部に位置する天ヶ城麓地区は、薩摩藩の外城として栄えた名残として、武家門や石垣などの歴史的建造物が点在し、宮崎市でも数少ない歴史的街なみを有する地区です。この貴重な街なみを保全していくために、本年度より、景観ルール策定、石垣や家屋の修景、道路面美化化などの「街なみづくり」を実施します。本年度は、その第一段階として、地元協議会、宮崎県建築士会、市が協働してまちづくりの方向性や景観ルールの検討を行う予定であり、計3回（場合によっては4回）の「ワークショップ」と呼ばれる参加型会議により、色々な立場の方々のまちへの思いを取りまとめてまいります。

11月27日(土)に第1回ワークショップが武家住宅にて開催されました。宮崎県景観アドバイザーで建築士の松竹さんをファシリテーター（進行役）として、地元住民、市民、大学生、建築士会メンバー、行政など約30名の参加者が4班に分かれ、地区周辺のまち歩きを行いました。まちの魅力と問題点を整理することで、今後のまちづくりの課題や将来像を考えるための情報と意識の共有を図りました。

ワークショップの流れ

第1回「まちを共有し、課題を探ろう」

11月27日(土) 13時～16時

高岡天ヶ城麓地区武家住宅

・まちを歩き、地区の魅力や問題を共有する。



プログラム

- 13:00 開会・あいさつ
- 13:10 事例紹介・高岡ガイダンス
 - 景観やまちづくりについて
 - 高岡の歴史的背景や特徴
- 13:45 グループ分け・自己紹介
- 14:00 まち歩きウォッチング
- 15:10 ウォッチングのまとめ
 - グループ内ベストショット
 - ウォッチングマップづくり
 - 発表
- 16:00 閉会

第2回「将来像を考えよう」

12月18日(土) 10時～12時

高岡天ヶ城麓地区武家住宅

・守り育てる要素、まちづくりの方針を検討する。

第3回「実現に向けて話そう」

1月22日(土) 10時～12時

高岡天ヶ城麓地区武家住宅

・まちの将来像や具体的なルール等を検討する。

事例紹介・高岡ガイダンス・グループ分け

ワークショップに入る前に、市景観課ならびに建築士の松竹さんより、景観やまちづくりについての説明がありました。景観形成の効果や県内外の景観づくりの事例紹介により、まちづくりのあり方や手法について学習しました。また、市文化財課より、天ヶ城麓地区の街なみ形成の歴史について説明があり、検討の対象となる地区の歴史を振り返りました。

そしていよいよワークショップ。グループ分けのために、まず皆さんに、高岡のイメージ色についてお聞きしました。一番多かったのが緑色。その他、灰色、青色、黄色などがあり、答えた色に基づいてグループに分かれました。



まち歩き

4つのグループに分かれてまち歩きを行い、まちの魅力や課題を探りました。まち歩き後は、各班で作業を行い、活発に議論しながら地図上にまちの課題や魅力などをプロットしました。また、撮ってきた写真の中から、各グループおよび全体のベストショットを選びました。

作業後は、各班の代表による発表が行われ、今後のまちづくりに対する期待感が伝わってきました。



全体のベスト
ショット
(4班の写真)

ベスト
ショット

●魅力

- ・小学校の門は素晴らしい
- ・長野家（住宅・武家門）は残したい
- ・内山神社前を重点整備地区にすべきである
- ・安らげる穏やかな景観であり、残していきたい

●気になる点

- ・小学校のフェンスは景観を損ねている
- ・小学校裏の石敢當（石碑）が追いやられている
- ・メインストリート（旧国道）は特徴がない
- ・老朽化している門があり景観を損ねている
- ・小学校前の歩道が狭い
- ・素晴らしい資源はあるが、つながっていない

1班

●魅力

- ・石垣が残る街なみ
- ・ブロック塀がツタにより目隠しされている
- ・内山神社前参道は真っすぐで見通しがよい。整備すれば人は集まる

●気になる点

- ・派手な建物。緑が多い中で景観が損なわれている
- ・案内が無く、来訪者にとってどこに何があるのかわかりづらい
- ・周囲に調和していない看板類
- ・総合支所北側の消防プレハブが周辺と不調和
- ・点在している資源を一つにつなげていけばよい

2班

●魅力

- ・石垣や竹垣など歴史的風情がある
- ・石垣と緑や紅葉の赤などの対比が素晴らしい
- ・瓦屋根の景観が素晴らしい

●気になる点

- ・景観にそぐわない店舗や看板類
- ・空地や空家、老朽化が激しい門がある
- ・内山神社前の通りは趣があるが、もうひとひねり欲しい。演出が必要
- ・電線が無ければよい
- ・狭い道路は一方通行の必要性がある
- ・コンビ二前水路沿いの防護柵と石垣が不調和

3班

●魅力

- ・竹垣が広い範囲で残っており美しい
- ・歴史的な資源が晩秋の風景にあう。季節で楽しめる景観である

- ・地元の方が昔の思い出をたくさん話される。素晴らしい、住みたい街だと実感した
- ・市来家長屋門とグログナモチの調和が素晴らしい

●気になる点

- ・ブロック塀が残念
- ・30年前に今回の取組みをしておけばよかった
- ・老朽化した門は見苦しいが再生する方がよい
- ・支所前通りは昔は狭く竹垣が素晴らしかった

4班

アドバイザー（松竹さん）の一言

第1回ワークショップお疲れ様でした。見慣れた町も色々な立場の皆さんと一緒に見直すと、当然のごとく見えることと改めて見えること、また色々な見え方があることを体験でき、新鮮であったことかと思います。皆さんが作られた景観マップには沢山のメッセージ（キーワード）が寄せられていました。次回はこれらをもとに、景観まちづくりのための目標（イメージ）の様なものを探り出したいと思います。また高岡のまちのこと・・・皆で楽しく考えましょう！

次回は12月18日(土) 10時～12時

場 所：高岡天ヶ城麓地区武家住宅

テーマ：「将来像を考えよう」

是非、ご参加ください！

■問い合わせ

・高岡天ヶ城麓地区歴史的まちなみ整備住民協議会
松木(会長)、岩崎(副会長)、松浦(事務局)

電話 82-5189

・宮崎市景観課 沼口・柿木 電話 21-1817